



Stay Hungry · Stay Foolish

「毎日、今日が人生最後の日かもしれない、と考えるとすれば、いつか必ずその考えが正しい日が来る。」アップル社前最高経営責任者・故スティーブ・ジョブズ氏が、スタンフ



那賀川町
坂田 浩子さん

オード大学卒業式の記念講演にて語った言葉である。新しいことをする者は、クレイジーだと

私の父は、ごく普通の会社員だったが、先見の明があった。30年前のこの徳島で、私たち姉妹に英語を習わせ、矯正歯科へ通わせた。また、話術ひいては人脈の重要さゆえ、野球や将棋、政治経済、歴史の知識は勿論、普段から話題の引き出しをたくさん持っておくことを説いた。私の高校卒業後の進路決定時も、県外でも海外でもどこでも行つてこいと後押ししてくれた。父自身、数十年来ずっと大好きな英語に触れない日は一日とてない。その飽くなき探求心。父の姿勢は、毎日学ぶことの楽しさ大切さを、孫たちにも無言のうちを示してくれている。

今年もフウの木が色付き、コスモスの花が風に揺れ、暖炉に火がともる季節がやってきた。晩秋の景色の中に、英字新聞を読む父の姿が、当たり前のように我が家にはある。

次は、羽ノ浦町の七條富美さんにお願います。

市民文芸

短歌

阿南市 春季
短歌大会 作品

緩やかな日射しを受けて雨樋を雪解け流る春の足音
横山みつ枝

もみじ葉がにしきの如き秋の日に白寿の姑は天国へ逝く
常盤 久子

悲しみは忘れることはできないから楽しいことをさがして歩こう
島尾 妙

ランドセルに春の日を受け大声に九九唱えつつ帰る行く児等
佐々 近

アナウンサーは原発事故告ぐ空の色海のプールの画面合成背負いて
倉橋寿満子

春近き東北大地に原発に激震走る未曾有の惨事
高野 富江

幼子を残してママの初出勤スーツにパンプスきりりと決めて
村上 富子

穂芒や蛇笏の一句口遊む

大川 功

峰の神名月に酔い琴に酔い

藤本 絹代

膳先に一枝そえり薄紅葉

多田 秀子

床の間の花器のふくらみ秋光る

野中 久子

駅一つ手前で降りし後の月

中富 範子

触れてみて動く気配のなき蜻蛉

小西 晴美

棟の実たわわに揺れる南大門

松村みどり

菊薫る旅の終りの無人駅

荒谷 隆文

柿好きの姑に山盛り柿供ふ

久米 千草

川柳

阿南市 川柳会
高木 旬 笑 選

メール便その一言が気にかかる

二階千代美

美しい嘘でしこりを取りほぐす

武田 敏子

胸算用してから話し持つてゆく

湯浅 三子

たくあんに日本の良さを噛み締める

田上 鶴子

猿が出て昼寝の夢を食べられる

鈴木レイ子

俳句

阿南市俳句連合会選

過ぎ去れば小さきことなり木の葉髪

阿部 勝代